

NO12 平成27年2月13日



北山村 議会だより

編集発行
和歌山県北山村議会
TEL 0735-49-2331
FAX 0735-49-2207



平成26年第2回臨時会 / 12月定例会が開催されました

補正予算の審議 ・ 新しい議会がスタート P2～4

議員が村政を問う P5～6

議会活動・視察報告 P7

村民登場(北山中学校教師 田岡美佳) P8

議員コラム(亀田剛)・暮らしの情報 P9～10

平成26年第2回臨時会 ～審議・可決～

平成26年第2回臨時会は、12月1日開催されました。
 本会には、11月21日の衆議院解散に伴う衆議院議員総選挙の選挙費用の専決処分1件と、
 下尾井オトノリ周辺の用地購入に伴う補正予算の議案1件が審議され、慎重審議の結果、原案
 可決となりました。

●承認第8号 専決処分の承認について（平成26年度北山村一般会計補正予算（第4号））

予 算	金 額
衆議院議員選挙費	1,900千円
	（報酬・職員手当 賃金 需要費）

★専決処分の承認とは・・・本来、議会の議決を経なければならない案件について、地方自治法の定めにより議会の議決を受けずに村長が決定を行なうことで、主に議会が召集されるまでの時間的余裕が無い場合など、専決処分が行われます。但し、その後に議会への報告が必要です。11月21日の衆議院解散に伴う総選挙であったため、これに該当するものです。



●議案第43号 平成26年度北山村一般会計補正予算（第5号）について

予 算	金 額
商工総務費	5,000千円
	（公有財産購入費）

★この用地については、北山川観光筏下りがスタートした昭和54年から長期にわたり、地権者である阪井氏から借用していたものです。今回、村に売却の話があり、観光筏下りを継続する上で必要な土地であるため、公共用地として購入を行ったものです。この用地は、国道に接した筏の昇降施設やオトノリ駐車場トイレが設置されています。【面積：37,818㎡ 所在地：北山村下尾井西ノ峰714-1 外8筆】



平成26年12月定例会 ～補正予算等を審議・可決～

平成26年12月定例会は、12月17日～18日（会期2日間）に開催されました。本会には、認定1件、平成26年度一般会計及び特別会計の補正予算に関する議案が12件、発議1件が提出され、慎重審議の結果、それぞれ原案どおり可決承認されました。

また、18日の追加議案には、一身上の理由による議長・副議長の辞職が許可され、議会構成の変更（議長副議長の選任・常任委員会等の選任・組合議員の選挙・監査委員の選任）が、審議され可決承認されました。

●認定・条例例・予算の議案

認定第9号	村道路線の変更及び認定について
議案第44号	職員の給与に関する条例の一部改正について
議案第45号	北山村ひとり親家庭医療費の支給に関する条例の全部改正について
議案第46号	北山村国民健康保険条例の一部改正について
議案第47号	和歌山県市町村総合事務組合規約の一部改正について
議案第48号	平成26年度北山村一般会計補正予算（第6号）について
議案第49号	平成26年度北山村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
議案第50号	平成26年度北山村介護健康保険特別会計補正予算（第2号）について
議案第51号	平成26年度北山村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について
議案第52号	平成26年度北山村国民健康保険直営診療所特別会計補正予算（第2号）について
議案第53号	平成26年度北山村簡易水道特別会計補正予算（第1号）について
議案第54号	平成26年度北山村地域振興事業特別会計補正予算（第4号）について
議案第55号	平成26年度北山村温泉施設事業特別会計補正予算（第2号）について



●行政報告について ～村政の動向について～（抜粋）

国政・県政の状況・・・和歌山県知事選挙の結果（11月30日）投票率81・99%、仁坂知事の得票率は95%であった。また、衆議院議員総選挙の結果（12月14日投票）和歌山3区において、二階俊博先生が11回目の当選を果たす。村の投票結果は、投票率82.46%で、二階先生の得票率は91.9%であった。村政関係・・・じゃばら収穫量は、全体で118トン 対前年度28トン増加となった。11月9日には、「じゃばら収穫祭」に合わせ「じゃばら神社」が建立式典が開催される。

一般会計補正予算（第6号） 歳出の主なもの

予算科目	内容	金額（千円）
総務費	人事院勧告による職員人件費	731
〃	年金システム改修委託料	864
衛生費	診療所会計繰出金	△1,036
農林水産費	鳥獣被害防止ネット	200
〃	森林環境保全整備負担金	1,000
〃	林道相須大谷線舗装補修	2,000
土木費	移転補償金（竹原）	1,500
〃	竹原水道等整備工事	4,000
〃	橋梁点検委託料	1,000

新しい議会がスタート

12月定例会（平成26年12月18日）において、新しい議会構成が決定されました。正副議長の選挙は投票により、議長は亀田剛、副議長には山口賢二が当選しました。亀田議員の議長就任は3回目、山口議員の副議長就任は初となります。また、常任委員会、その他委員会の選任、一部事務組合議会議員の選挙、監査委員（議会選出）の選任等が行われましたので、新たに選出されたメンバーをご紹介します。

議長 亀田 剛
副議長 山口 賢二

委員会について

最終的な決定（議決）は、本会議で行われますが、扱われる事項は数も多く、内容も幅広い分野にわたっているため、委員会を設け、そこでより専門的、能率的に審査されます。委員会には議会運営委員会と常任委員会、特別委員会（必要に応じて設置）があり、本会議の準備的、予備的な手続きを行います。

★総務建設常任委員会

社会福祉・観光振興・教育・産業建設など、行政全般事項を所管。

★議会運営委員会

議会の会期日程・議会運営に関する事項を所管。

★災害対策特別委員会

台風及び大地震等による災害対策に関する事項を所管。

総務建設常任委員会

委員長 福村 尚
副委員長 久保 學

議会運営委員会

委員長 久保 學
副委員長 久保 隆俊

災害対策特別委員会

委員長 葛城 健也
副委員長 山口 賢二

監査委員

久保 隆俊

一部事務組合議会の議員

紀南環境衛生施設組合議会 山口 賢二 葛城 健也
後期高齢者医療広域連合議会 福村 尚

議員が村政を問う
平成26年12月定例会で次の質問ができました。

- 久保 學
- ①新品種（県試験場）
 - ②果皮を原料（粉）製品について
 - ③商標登録について

- 亀田 剛
- ①おくとろ温泉の件
 - ②むらブローの件（収支について）
 - ③国道改修の件
 - ④公営住宅の件

- 福村 尚
- 村政全般
- ①村長の政治姿勢について
 - ②奥瀬3期工事着工時期について
 - ③北山村の振興策について

- 山口 賢二
- ①直営事業所等における雇用のあり方
 - ②地震対策について
 - ③買い物お迎えサービスの試行について
 - ④職員採用について



議員が村政を問う（一般質問）

ジャバラ果皮について 久保 學

【質問】村では3年ほど前から、果実よりも皮に成分が多いということ、「じゃばら」を粉にした製品（石けんや入浴剤など）を商品化している。ただ、私が調べたところ、「リモネン」という物質が皮の中にあり、これがアレルギーを引き起こす物質であり、除去しないと逆にアレルギー症状を起こす可能性が高いらしい。例えば、ニユース等で問題となった、大手の化粧品会社が製造した商品が肌に白斑を起こしたということが裁判になっている。この成分が、「ロドデノール」という薬品の使用により起こったようである。

更に、15年ほど前になるが、1軒のリンゴの農家が、使用してはいけない薬品を使ったため、その地域500軒ほどの農家のリンゴが出荷停止となった。最終的にはその農家の

方が自殺をしているが、全体に迷惑をかけたところまで発展したケースである。そういう例のを考えると、皮の中でアレルギーを誘発するとされる有害な物質（リモネン）を除去する特許を取った方もおり、そういった安全な商品の製品化を充分考えて頂きたい。

行っているが、アレルギー症状とか、そういうことを引き起こしたという結果は今のところはない。しかしながら、色んな問題も出てくる可能性もあり、製薬会社等と協議するなど、引き続き調査を行いたい。

（観光産業課長）

【回答】入浴剤、石けんには、果皮やじゃばら精油を使用し製品をつくっている。果皮と精油の成分分析では、「ベータミルセン」が40%、「リモネン」が20%の割合で含まれており、柑橘類の精油に関しては、80%〜90%が「リモネン」であるといわれている。

「リモネン」につきましては、がん予防に効果があるということとで新聞等でも報道されている。じゃばら入浴剤に関しては2,000人のアンケートを

公営住宅の件 亀田 剛

亀田 剛

【質問】
◎公営住宅の払い下げ
公営住宅の多数は老朽化してきている。定住を促進するために、今後建設される公営住宅、（入居している住宅を含め）「払い下げ」を検討すべき。修理代など住宅の維持管理に必要な費用を考えた場合、半年なり1年なりかけて「払い下げ」を検討したらどうか。

やっぱりそういう形に持っていきたいと思う。ただ、公営住宅法の縛りがあり、一定の年限、条件をクリアすれば問題ないと思っている。希望者がいるかどうかも含め検討したい。

（村長）

◎国道改修について
国道169号改良工事（竹原工区）に伴う村負担であるが、当局の説明は、事業に伴う移転先用地の水路整備や合併浄化槽設置工事にかかる費用の負担いう説明であった。

【回答】公営住宅の払い下げの提案は、過去に何回も話があった。基本的に、ある一定の条件をクリアすれば、「払い下げ」もい。ただ、二戸一タイプの住宅では壁をどうするのか？合併浄化槽をどうするのか？構造的な問題もあり、色んな条件があると思うので、整理していきたい。

今後、他の地域でもそういう事例があれば同じ対応を行わなければならない。国道改良工事に伴う移転補償は、今後も地域間で不平のないよう慎重な取扱いをお願いしたい。

（議員）

今後、建てる大沼住宅は、独立した1戸建てを2棟建てることにしており、ゆくゆくは

大沼（じゃばら工場横）に建設中の村営住宅 ←



議員が村政を問う（一般質問）

村政全般について 福村 尚



【質問】10月29日付の朝日新聞和歌山版の報道で、東海・南海地震が同時に起こった場合の和歌山県の被害想定は、死者8万2千人、重軽傷者3万9千人、家屋の全壊9800棟と想定されている。その中で、北山村では、死者5名家屋の全壊140棟と公表されましたが、これはどの地域どの場所を示しているのか？

【回答】その被害想定に関しては県が独自で検討し、発表したものです。（参事）

※県の防災担当課等に公表された資料の確認を取って頂きたい。

【質問】近年の人口の減少について、「世帯の減り方」は面白いものがあり、人口が5割減っても、世帯が2割しか減っていない。要は、1人家族が多くなってきた。それを見過した中で福祉活動、福祉事業、子育て支援など、どのようにいかしていくか？これが大切になってくる。特に国土強靱化、この法律の趣旨は、地方が栄えてこそ国が栄えますよという形が、国土強靱化法の基本的な理念である。北山村内でも地域振興を任せる良い人材がいるように思うので、北山村内の人でこれら実情のよくわかった人の採用も検討して頂きたい。（議員）

【質問】村長の政治公約又毎年3月議会に提出される施策方針の演説で、北山村の振興策が度々言われている。特に、おくとろ温泉の民営化、国道第三期工事、観光筏下り、じゃばら事業の更なる発展を強調している。行政事務からはなれて振興策のみを担当する専門の職員を採用する考えはないのか？

【回答】大体1年に10人前後ぐらい人口が減っており、職員の雇用をどうするかという議論もある。例えば1つ最近よく出る言葉で、ワークシェアなど、一定額を保証し複数人を雇える方法などもある。各地域の自立ということも大事であり、総務省が言っておる地域の自立圏のネットワークなどにも取り組んでいく必要がある。（村長）



職員採用について 山口 賢二

【質問】地方交付税の算定は、自治体の人口が地方交付税の配分に大きな影響を及ぼす。来年は、5年に1回の国勢調査の年であり、この調査結果による「人口」が交付税算定のベースとなってくる。それらを充分考慮し、交付税に算入できるような雇用の仕方というものを、考えて行く必要があるのでは？

【回答】雇用の問題は、基本的に定住人口を増やすことが1番。なぜ地元でなかなか雇用してもできないかといったら、雇用される方の身分の安定というのが要件としてある。例えば「ワークシェアリング」など例もあるので、色んな議論をしていきたい。（村長）

【質問】村長の施政方針では、24年度の施政方針までは温泉などの民営化があったが、25年度にはもう文言が消えている。取り組む姿勢があるのか？

【回答】前提の中で、民営化の前提の中で、予算上、温泉を地域振興事業会計に取り入れ、一体化することを提案したい。民営化への準備段階として・・・

【質問】各事業の中身は見にくいという問題もあるが、中身をきっちり分析できるようにすれば、何ら問題ないというふうに思っている。（村長）

【質問】職員採用の件について、来年1名、再来年3名の職員が退職する。それとあわせて、教育長の配置の問題もある。今後の方針を聞かせて頂きたい。



【回答】県、国の制度として再任用制度が行われている。まずそこで再任用を希望するか本人の意向をききと把握した上で、今後の体制を決めていきたい。国土強靱化等への対応など土木職の職員確保も何とかしたい。特に限られた人数でやるわけであり、即戦力が求められる。採用手法も含めて考えていく必要がある。教育長の問題については、新しい教育基本法が改正され来年から実施される。それに向かっていくのが基本である。（村長）

下北山村の公共施設の視察報告

総務建設常任委員会

平成26年11月25日(月)
下北山村で開催されました「北山三村議会議員交流会」に合わせ、同村にある公共施設の視察を行いました。
視察メンバーは、委員4名(久保隆俊・久保學・亀田・葛城)に、執行部から中森住民福祉課長、田岡観光産業課長の外、2名の職員が参加しております。

普段、両村は県が違うため、殆ど行政的な繋がりがありませんが、それでも、ゴミ処理の委託業務などで協力して頂いております。また近年、下北山村から通勤者も増えており、主要幹線道路である国道169号改良の促進、吉野熊野の観光振興など、各種協議会の構成団体として連携強化に取り組んでおります。

下北山村の概要ですが、人口1033人・世帯数606人と、単純に当村の約2倍です。また、村の面積は133km²で3倍ほどの広さがあります。

限られた人員と財源を効率的に活用するため、行政

サービスの広域連携は整っており、ゴミ処理やし尿処理・火葬場などの分野では、上北山村と二村で一部事務組合を設置し、共同処理を行っています。

また、救急消防の分野は、平成10年に加入した奈良県吉野広域行政事務組合に委託し、救急消防業務の常備化が図られています。吉野広域消防署の北山分遣所として、センターには最新の緊急通報指令システムが導入され、常時5名の救急隊員が24時間体制で配置されています。救急救命士が乗車する高規格救急車や消防積載車など設備も充実し、体制は万全のようです。



下北山村と例えば、「下北山村スポーツ公園・きなりの郷」が観光資源として有名です。キャンプ場、テニスやサッカーなど総合施設・合宿先として全国の関係団体から利用されており、高い集客力を誇っているようです。本年度には、新しく第二グラウンドを、約1億2千万費用をかけた人工芝のサッカー公式フィールドにしたそうです。ちなみに、料金は一般で1日1万2千円で利用できます。

特に注目は、自治体として今やステータスになっている再生可能エネルギーへの取り組みです。北山川本流には、最大35万キロワット

トを誇る池原ダムがありましたが、これは都市部へ供給している発電所ですが、池原には、公園施設に自家供給・自家消費し、余剰電力を関西電力に売電している村経営の「小又川発電所」があります。98kwの規模の発電施設で、平均発電量は年間60万kw、維持管理費は約400万円ですが、事業効果としては約600万円近い収益があるそうです。小さな発電所に関わらず、発電開始までの許認可が大変であったことや、アナログからデジタル機器へ修繕したのはいいが寿命が短く、今後の機器類の更新が課題となっていたことなどが説明を受けました。環境にやさしいエネルギー施設として売ることには成功しても、それ相当のリスクがあるということなど、現場の声を聞いております。

その外にも、ゴミ焼却施設や、し尿処理場を視察しており、施設の仕組みについて説明を受けました。

最後に、今回の視察に際し、下北山村役場、施設スタッフの皆様には大変お世話になりました。短い時間ではありましたが、同じ「小規模自治体」ながら、



その自立した取り組みについては驚かされるものがありました。これからの村行政に生かす貴重な体験として参考になったことを報告させていただきます。

故郷に戻って

北山小中学校 田岡 未佳

北山村も寒さの厳しい季節になってまいりました。

私は、昨年の3月に大学を卒業し4月から母校である北山小中学校で働かせていただいています。

私は生まれも育ちも北山村で学生時代の4年間は、東京で過ごしました。

村を離れるまでは何もないところだなと感じていましたが、都会で生活することにより北山村の良さに改めて気付くことができました。



春には、満開の桜を見ることができ、夏には今までは耳を傾けることがなかった蛙やひぐらしの鳴き声を聴くことができます。

秋には美味しいものもたくさん食べることができ、冬には、満天の星空を見ることができ、大学4年生の教育実習のときに母校で、まっすぐな心をもっているキラキラした子どもたちに出会いました。教育実習の記念に生徒と撮った写真や色紙を頂きましたがまさか、勤務地が北山村に決まったときはびっくりしました。

生まれ育った村で働けることや子供たちに再開できたことには大変嬉しく感じました。しかし、社会人1年目ということ、不安なこともたくさんありましたが村の方々にお言葉をかけて頂き、温かい気持ちになりました。

学校では日々、新しいことばかりで、壁にぶち当たってばかりですが、子どもたちの笑顔に助けられています。

昨年の十一月には毎年恒例の郡市音楽会に参加しましたが、大勢

の人の前に立つことで、とても良い経験になったと思います。音楽を通して、子供たちの成長にかかわりたいと学生時代は思い、教師を目指していました。

しかし、実際に現場で働くと自分が教えるどころか、子供たちから学ぶことがたくさんあります。

北山村は、小規模校ということもあり、子どもたちにとって時には我慢をしなければいけないこともあるかもしれません。しかし、北山村の小規模校にしかできないこともたくさんあると思っています。

私は、北山小・中学校には、たくさんのおい出があります。母校が北山小・中学校で良かったなと思っています。

そのように思えるのも、関わってくださった先生方、村民の方々のおかげです。

今度は、私が子どもたちにとって思い出に残る北山小・中学校になるよう関わり、一緒に成長できたらと思います。

今年は色々なことにチャレンジしたいと思います。過日、友人と熊野古道を歩きとても気持ちよかったです。

運動は苦手なのですが、時間のある日は、お弁当を持ってハイキングに行けたらなと思っています。



2014/11/20



議員コラム 「心に残る景色」

亀田剛



昨年11月の終わり、北山村下尾井から熊野川を経由して新宮市へ向かいました。村から20分位の車を走らせ、いくつかのトンネルを抜けると奥瀬道路2期工事の現場があります。車で通るたび着々と工事が進んでいます。恐らく今年の9月頃、和歌山国体には、完成されるように思われます。そして、少し車を走らせ峠に向かいますと、だんだん景色が華やかになってきて、思わず車を止め、山々の色彩に惚れ惚れ魅入ってしまった。なんと「錦状」という言葉そのもので、遥か彼方の山々まで、紅葉の絶景で

した。カメラを持っていくわけではないし、写メも得意ではないし、この景色を残せないのは残念で仕方ありませんでした。家に帰るとテレビ番組で京都や箱根の紅葉を放映していましたが、都会の人達は、この紅葉を見るために遠くまで出かけ、一瞬の間の美しさを逃さまいと苦勞し、また人混みに揉まれまいと必死の思いで見ようとする。当たり前のようにですが、近くに京都や箱根にも劣らない絶景があるのに、もったいない事だと思いました。北山川で国体の



カヌー競技が開催される時期が、あと1ヶ月が遅かったら、選手や関係者の皆様にあの素晴らしい紅葉の絶景を、見てもらえるのになあ・・・と残念に思いました。念願の奥瀬道路2期区間の開通もあと少しです。新しいルートでは、玉置口や瀬の集落の遥か上に橋を架け、立派な道路ができますが、そこから見る景色も期待できるのではないでしょうか。きっと絶景であり、四季折々の山々、壮大な奥瀬溪谷を眺める観光スポットとして、今から楽しみにしております。



総務建設常任委員会からの報告

★本委員会は、幅広い行政事務を専門的かつ効果的に調査・審議するための機関であり、毎月第二金曜日に開催されます。現在、村の活性化を図るため、少子化対策や、定住促進に関する制度創設に向けた審議が行われております。

★次年度の新施策（案）

・学校給食の無料化

現在給食費は一人当たり、小学校250円 中学校270円となつています。約100万円予算化。

・乳幼児医療費制度の拡大 18歳までの医療費無料化

現行制度は中学生までとなつており、入院時の限度額5万円についても撤廃。要件は村に住所があること。

約56万円予算化（約30万の追加予算）

・空家改修事業補助金

空家を改修して村外からの移住者に対する改修費用を補助するもの（補助金未定 5年以上の定住条件あり）

・海外語学研修

アメリカ フロリダ州に約2週間ホームステイ 一人当たり約50万円を公費負担。対象者は5名

約250万円を予算化

★継続審議中となつてゐる施策

・北山村中学校卒業生に対する卒業祝金

村在住で、中学校卒業時に定住期間に応じて祝金を支給するもの（移住月数×五千元 上限70万円）

◎現在の支援制度（継続）

・若者定住促進施策（入学祝金等の支給）

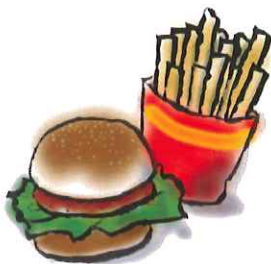
保育所入園1万円 小学校入学2万円 中学校3万円 住宅資金の利子補給 支払い利子分の2分の1

1年間最高12万円 5年間支給

・賃貸住宅の家賃補助 1万円を減額した額の2分の1（限度額2万5千元）を支給ほか

暮らしの情報

～笑顔がこぼれる じゃぼらバーガー～



じゃぼらバーガーの作り方

■材料(12個分)

- 鶏もも肉(パンスの大きさ)(12切)
- レタス(1口大)(2~3枚)
- キャベツ(千切り)(1/4玉)
- たまねぎ(スライス)(1/4個)
- バーガーパン(12個)
- マヨネーズ(適量)

■[A]たれ

- みりん(75cc) 果汁(100cc)
- しょうゆ(甘口)(160cc)
- 砂糖(100g)

■[B]下味

- 果汁(50cc)酒(50cc)

☆**コツ・ポイント**☆
 ●食べるときは、ペーパーでくるむと食べやすい
 ●はさむ野菜の量は好みで調節して下さい。
 ●鶏肉のジューシーでぷりっとした食感と、
 シャキッとした野菜を楽しんで下さいね!

■作り方

- 一 鶏もも肉を切り、肉たたきで厚みを均一にする。
- 二 [B] 下味の調味料に1時間程度漬け込む。
 漬け込みが終わったら、鶏肉に片栗粉を付け、こんがり油で揚げる。
- 三 [A] たれの中に上がった鶏肉を入れ、味をなじみこませる。
- 四 パンスの断面をホットプレートで焼くパン스에マヨネーズをたっぷりぬり、レタス、キャベツ、鶏肉、玉ねぎをはさむ。

★地域の食材を利用した「ご当地バーガー」は、今では全国でたくさんあります。
 このような「じゃぼらバーガー」の普及は、地域のPRとしては楽しいのではないのでしょうか？
 昨年の「全国ご当地バーガーグランプリ」では、和歌山県の「紀州梅バーガー」が1位に選ばれています。

広報委員より

12月定例会では、議長・副議長選挙が行われました。地方自治法には「議長及び副議長の任期は、議員の任期による」と規定されており、法的には、正副議長の任期は4年です。しかし、これまでの、議員間の「申し合わせ」により、公平に議長を経験してもらうため、2年という取り決めがありました。県内の町村議会の多くも、短期交代制であり、正副議長の任期は2年という「申し合わせ」を尊重しているようです。ただし、本来、議長の地位は、会議の運営を統括する立場で、村議会を代表する権威のある役職です。持ち回りの名誉職であってはいけません。多種多様な意見があり、結果的には村議会の議員構成は変わりましたが、慣例にとられない「議会改革」としてこれを捉え、今後も、6名の議員が一致団結し、諸課題の解決に取り組んでまいりますので、ご支援のほど宜しくお願いします。

